

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)様式土3-5(1)、(3)~(6)、(10)、(13)、(14) (新旧対照表)

(検査員)

| 考査項目 | 細別 | [評価対象項目] | |
|------------------------|-----------------|---|---|
| | | 改正後 | 改正前 |
| 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 | コンクリート 構造物工事 | <p><input type="checkbox"/>1) <u>施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>2) <u>埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>3) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>4) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。</p> <p>☆ <input type="checkbox"/>5) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/>6) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>7) コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>8) コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、<u>面取り</u>が適切に行なわれていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>9) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>10) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>11) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>12) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>13) 鉄筋を露出した状態で完了する場合、防錆の処置が適切に行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>14) 圧接作業は有資格作業員が行っていることが確認できる。</p> <p>☆ <input type="checkbox"/>15) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>16) スペースの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>17) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>18) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照</p> <p><input type="checkbox"/>19) その他</p> | <p><input type="checkbox"/>1) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>2) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>3) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/>4) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>5) コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>6) コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理が適切に行なわれていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>7) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>8) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>9) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>10) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>11) 鉄筋を露出した状態で完了する場合、防錆の処置が適切に行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>12) 圧接作業は有資格作業員が行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>13) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>14) スペースの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>15) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>16) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照</p> <p><input type="checkbox"/>17) その他</p> |
| | 護岸・根固・水制工事 | <p><input type="checkbox"/>1) <u>施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>2) <u>埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>3) <u>基礎工(護岸)において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</u></p> <p>☆ <input type="checkbox"/>4) 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めが、空隙が生じていないよう十分行われており、抜型枠の処理が適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>5) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>6) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。</p> | <p><input type="checkbox"/>1) <u>施工基面が掘り過ぎなく平滑に仕上げられていることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>2) 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めが、空隙が生じていないよう十分行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>3) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>4) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| <p>☆</p> <p>☆</p> | <p>□7) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>□8) <u>コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行われていることが確認できる。</u></p> <p>□9) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>□10) コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>□11) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>□12) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。</p> <p>□13) 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないよう行われていることが確認できる。</p> <p>□14) 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□15) 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性が確保されていることが確認できる。</p> <p>□16) 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□17) 植生工で、植生の種類、品質、配合、及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□18) 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<u>(根固工では連結金具のネジ山つぶしが確認できる。)</u></p> <p>□19) 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。</p> <p>□20) コンクリートブロック等が損傷なく設置されていることが確認できる。</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>□21) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照</p> <p>□22) その他</p> | <p>□5) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>□6) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>□7) コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>□8) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>□9) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。</p> <p>□10) 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないよう行われていることが確認できる。</p> <p>□11) 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□12) 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性が確保されていることが確認できる。</p> <p>□13) 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□14) 植生工で、植生の種類、品質、配合、及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□15) 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□16) 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。</p> <p>□17) コンクリートブロック等が損傷なく設置されていることが確認できる。</p> <p>□18) <u>施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工されていることが確認できる。</u></p> <p>□19) <u>埋戻し材料について設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</u></p> <p>□20) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照</p> <p>□21) その他</p> |
| <p>鋼橋工事</p> <p>(RC床版工事はコンクリート橋工事に準ずる)及びその他</p> <p>鋼構造物</p> <p>[水管橋・水門・樋門工(扉体工)]</p> | <p>[工場製作関係]</p> <p>□1) 鋼材の種類が、品質を証明する書類又は現物により照合されていることが確認できる。</p> <p>□2) 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>□3) 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満たしていることが確認できる。</p> <p>□4) 溶接施工に係る施工計画書が提出されていることが確認できる。</p> <p>□5) 孔空けによって生じたまくれが削りとられているなど、きめ細やかに製作されていることが確認できる。</p> <p>□6) 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p>□7) 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>□8) 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>□9) 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>□10) 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>[架設関係]</p> <p>□11) ボルトの締付確認が実施され、記録が保管されていることが確認できる。</p> <p>□12) ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>□13) 高力ボルトの締め付けが、中心から外側に向かって行われていることが確認できる。</p> | <p>[工場製作関係]</p> <p>□1) 鋼材の種類が、品質を証明する書類又は現物により照合されていることが確認できる。</p> <p>□2) 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>□3) 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満たしていることが確認できる。</p> <p>□4) 溶接施工に係る施工計画書が提出されていることが確認できる。</p> <p>□5) 孔空けによって生じたまくれが削りとられているなど、きめ細やかに製作されていることが確認できる。</p> <p>□6) 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p>□7) 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>□8) 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>□9) 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>□10) 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>[架設関係]</p> <p>□11) ボルトの締付確認が実施され、記録が保管されていることが確認できる。</p> <p>□12) ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>□13) 高力ボルトの締め付けが、中心から外側に向かって行われていることが確認できる。</p> |

- 14) 高力ボルトの品質証明書等で確認できる。
- 15) 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。
- 16) 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。
- 17) 架設に用いる仮設備及び架設用機材については、品質・性能が確保できる規模と強度を有することが確認できる。
- 18) 現場塗装部のケレン及び膜厚管理が適切に行われていることが確認できる。
- 19) 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認が行われていることが確認できる。
- 20) その他

- 14) 高力ボルトの品質証明書等で確認できる。
- 15) 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。
- 16) 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。
- 17) 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。
- 18) 現場塗装部のケレン及び膜厚管理が適切に行われていることが確認できる。
- 19) 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認が行われていることが確認できる。
- 20) その他

砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)

- [共通]**
- 1) 施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。
 - 2) 埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。
 - 3) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
 - 4) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。
 - ☆ 5) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
 - 6) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
 - 7) コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。
 - 8) コンクリート打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行われていることが確認できる。
 - 9) 地山とのすりつけが適切に行われていることが確認できる。
 - 10) 鉄筋及び鋼材の規格が、品質を証明する書類等で確認できる。
 - 11) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。
 - ☆ 12) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。
 - 13) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。
- [砂防構造物工事に適用]**
- (削除)
- 14) 止水板が適正な位置に配置されている。
 - 15) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。
 - 16) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。
 - 17) アンカーの施工が設計図書を満足していることが確認できる。
 - 18) グラウトの注入にあたり、グラウトが孔内から排出されるまで連続して注入作業が行われている。
 - 19) ボルトの締付確認が実施され、記録が保管されていることが確認できる。
 - 20) ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
- [地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸を含む)]**
- 21) アンカーの施工が設計図書を満足していることが確認できる。
 - 22) ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。

- [共通]**
- 1) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
 - 2) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。
 - 3) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
 - 4) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
 - 5) コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。
 - 6) コンクリート打設前に、打継ぎ目処理が適切に行われていることが確認できる。
 - 7) 地山とのすりつけが適切に行われていることが確認できる。
 - 8) 鉄筋及び鋼材の規格が、品質を証明する書類等で確認できる。
 - 9) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。
 - 10) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。
 - 11) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。
- [砂防構造物工事に適用]**
- 12) 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。
 - 13) 止水板が適正な位置に配置されている。
 - 14) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。
 - 15) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。
 - 16) アンカーの施工が設計図書を満足していることが確認できる。
 - 17) グラウトの注入にあたり、グラウトが孔内から排出されるまで連続して注入作業が行われている。
 - 18) ボルトの締付確認が実施され、記録が保管されていることが確認できる。
 - 19) ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
- [地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸を含む)]**
- 20) アンカーの施工が設計図書を満足していることが確認できる。
 - 21) ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。

- 23) ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。
- 24) 集・排水ボーリング工の方向及び角度が適正となるように施工上の配慮がなされていることが確認できる。
- 25) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照
- 26) その他

- 22) ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。
- 23) 集・排水ボーリング工の方向及び角度が適正となるように施工上の配慮がなされていることが確認できる。
- 24) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照
- 25) その他

舗装工事

【路床・路盤工関係】

- 1) 設計図書に定められた試験方法で路床及び路盤材料の基準密度・CBR値を測定していることが確認できる。
- 2) 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。(既設路床・路盤を含む。)
- 3) 路床及び路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 4) 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去し、材料を均一に敷均していることが確認できる。
- 5) 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めており、また構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。

【アスファルト舗装工関係】

- 6) アスファルト混合物の品質が配合設計及び試験練りの結果または、事前審査制度の証明書類により確認できる。
- 7) 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。
- 8) ブラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録し、気象条件等に配慮して敷均し、締固めを適切に行っており、また舗設後の交通の開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
- 9) 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。
- 10) 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が設計図書の仕様を満足しており、また瀝青材料を所定量均一に散布し、養生していることが確認できる。
- 11) アスファルト舗装工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

【コンクリート舗装工関係】

- 12) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
- 13) 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。
- 14) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量等の測定結果が確認できる。
- 15) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 16) 運搬時間、打設方法及び養生方法等が、施工条件及び気象条件に適しており、仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- 17) 材料が分離しないようコンクリートが敷均されていることが確認できる。
- 18) チェアー及びタイバーが、損傷などが発生しないよう保管されていることが確認できる。
- 19) 鉄網及び目地処理が適切に施工されていることが確認できる。
- 20) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照

【路床・路盤工関係】

- 1) 設計図書に定められた試験方法で路床及び路盤材料の基準密度・CBR値を測定していることが確認できる。
- 2) 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。(既設路床・路盤を含む。)
- 3) 路床及び路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 4) 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去し、材料を均一に敷均していることが確認できる。
- 5) 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めており、また構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。

【アスファルト舗装工関係】

- 6) アスファルト混合物の品質が配合設計及び試験練りの結果または、事前審査制度の証明書類により確認できる。
- 7) 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。
- 8) ブラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録し、気象条件等に配慮して敷均し、締固めを適切に行っており、また舗設後の交通の開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
- 9) 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。
- 10) 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が設計図書の仕様を満足しており、また瀝青材料を所定量均一に散布し、養生していることが確認できる。
- 11) アスファルト舗装工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

【コンクリート舗装工関係】

- 12) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
- 13) 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。
- 14) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量等の測定結果が確認できる。
- 15) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 16) 運搬時間、打設方法及び養生方法等が、施工条件及び気象条件に適しており、仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- 17) 材料が分離しないようコンクリートが敷均されていることが確認できる。
- 18) チェアー及びタイバーが、損傷などが発生しないよう保管されていることが確認できる。
- 19) 鉄網及び目地処理が適切に施工されていることが確認できる。
- 20) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照

| | | |
|------------------------|--|--|
| | <p>(削除)</p> <p>[橋面防水工関係]</p> <p><input type="checkbox"/>21) 床版表面の凹凸が少なく、ゴミなどが確実に除去されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>22) 使用材料の品質が証明書類で確認でき、輸送、保管が適切に行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>23) 気象状況を考慮して施工しており、施工前にコンクリート表面の含水率を測定し確認している。</p> <p>☆ <input type="checkbox"/>24) 防水シートの貼付けが気泡等が生じないように入念に施工され、重ね部が適切に処理されていることが確認できる。また生じた気泡等が適切に補修されていることが確認できる。</p> <p>☆ <input type="checkbox"/>25) 塗布材料(塗膜系防水材、プライマー、貼付用アスファルト等)がむらなく均一に、かつ表面に損傷等が生じないように施工され、養生されていることが確認できる。また生じた損傷が適切に補修されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>26) 端部(排水桝・伸縮装置周り、歩車道境界部等)の処理が設計図書どおりに行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>27) その他</p> | <p><input type="checkbox"/>21) その他</p> |
| <p>法面工事 (NO.2)</p> | <p>[現場打法砕工関係]</p> <p><input type="checkbox"/>16) 設計図書の仕様を満足する配合設計が行われ、その結果に基づき実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>17) アンカー及び鉄筋等が現場において適正に保管され、設計図書どおりの長さ、位置、間隔で施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>18) 層間にはく離がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>19) 不良箇所が生じないように跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>20) コアが現場で採取され、圧縮強度試験結果が適切に整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>21) 目地の施工位置、方法、間隔等が適切に処理されている。</p> <p><input type="checkbox"/>22) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>23) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>24) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照</p> <p>[落石防止工関係]</p> <p><input type="checkbox"/>25) 岩盤用アンカー打ち込みヶ所の表土は取り除かれ、岩盤が露出していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>26) 岩盤への削孔深、削孔径が規定値を満たし、固定が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>27) 注入剤(セメントミルク等)の充填状況が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>28) 金網の重ね幅が確保されている。</p> <p><input type="checkbox"/>29) 岩盤用アンカーボルト及び羽根付アンカーの打ち込み角度が確認できる。</p> <p>[グラウンドアンカー工関係]</p> <p><input type="checkbox"/>30) グラウンドアンカー工の削孔は位置、削孔径、長さ、方向が設計図書に示されたとおり、実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>31) グラウンドアンカー工の削孔終了後、スライムが除去されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>32) グラウト注入圧が設計注入圧を超えていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>33) アンカー工の各種試験が、事前に提出された試験計画書どおりに行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>34) 支圧版が適切に設置されていることが確認できる。</p> | <p>[現場打法砕工関係]</p> <p><input type="checkbox"/>16) 設計図書の仕様を満足する配合設計が行われ、その結果に基づき実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>17) アンカー及び鉄筋等が現場において適正に保管され、設計図書どおりの長さ、位置、間隔で施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>18) 層間にはく離がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>19) 不良箇所が生じないように跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>20) コアが現場で採取され、圧縮強度試験結果が適切に整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>21) 目地の施工位置、方法、間隔等が適切に処理されている。</p> <p><input type="checkbox"/>22) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>23) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>24) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照</p> <p>[落石防止工関係]</p> <p><input type="checkbox"/>25) 岩盤用アンカー打ち込みヶ所の表土は取り除かれ、岩盤が露出していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>26) 岩盤への削孔深、削孔径が規定値を満たし、固定が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>27) 注入剤(セメントミルク等)の充填状況が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>28) 金網の重ね幅が確保されている。</p> <p><input type="checkbox"/>29) 岩盤用アンカーボルト及び羽根付アンカーの打ち込み角度が確認できる。</p> <p>[グラウンドアンカー工関係]</p> <p><input type="checkbox"/>30) グラウンドアンカー工の削孔は位置、削孔径、長さ、方向が設計図書に示されたとおり、実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>31) グラウンドアンカー工の削孔終了後、スライムが除去されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>32) グラウト注入圧が設計注入圧を超えていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>33) アンカー工の各種試験が、事前に提出された試験計画書どおりに行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>34) 支圧版が適切に設置されていることが確認できる。</p> |

| | | |
|----------------|---|---|
| | (削除) | <input type="checkbox"/> 35) その他 |
| 法面工事 (NO.3) | <p>[連続繊維補強土工関係]</p> <p><input type="checkbox"/>35) 築造勾配が適切で、厚さが均等であることが確認できる。</p> <p>☆ <input type="checkbox"/>36) 連続繊維の混入量が管理され、適切な配合量であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>37) 砂質土の表面水の試験を行い、適切な配合量であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>38) 築造後の跳ね返り砂の除去・清掃を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>39) 補強土の一面せん断試験を実施し、所定の強度が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>40) 築造量や繊維計量器のキャリブレーションが実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>41) 裏面排水材が適切に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/>42) アンカーを設計図書どおりの長さ、削孔長、配置、頭部突出長で施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>43) アンカーの削孔終了後、スライムが除去されグラウトの充填状況が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>44) 保水、保肥材を設計図書どおりの密度で設置していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>45) その他</p> | |
| ブロック(石)積工(張工) | <p><input type="checkbox"/>1) <u>施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>2) <u>埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。</u></p> <p>☆ <input type="checkbox"/>3) <u>基礎工(護岸)において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>4) <u>施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</u></p> <p><input type="checkbox"/>5) <u>コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行なわれていることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>6) ブロック(石)間のかみ合わせが適切である。</p> <p><input type="checkbox"/>7) ブロック(石)に付着したゴミ、泥等がない。</p> <p><input type="checkbox"/>8) 水抜き孔は適切な位置に設けられ、<u>吸い出し、目詰まりのないよう施工されている。</u></p> <p><input type="checkbox"/>9) 伸縮目地は適切な位置に設けられている。</p> <p>☆ <input type="checkbox"/>10) <u>裏込材及び胴込めコンクリートの締固めが、空隙が生じていないよう十分行われており、抜型枠の処理が適切であることが確認できる。</u></p> <p><input type="checkbox"/>11) 丁張りを3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意をはらっている。</p> <p><input type="checkbox"/>12) 製品にひび割れ等の損傷がない、又は損傷部を適切に補修している。</p> <p><input type="checkbox"/>13) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>14) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、単位水量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>15) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>16) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>17) その他</p> | <p><input type="checkbox"/>1) <u>施工基面が平滑に仕上げられている。</u></p> <p><input type="checkbox"/>2) <u>裏込材、胴込コンクリートの充填または締固め等、打設・養生方法が適切で空隙が生じていない。</u></p> <p><input type="checkbox"/>3) ブロック(石)間のかみ合わせが適切である。</p> <p><input type="checkbox"/>4) ブロック(石)に付着したゴミ、泥等がない。</p> <p><input type="checkbox"/>5) 水抜き孔は適切な位置に設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>6) 伸縮目地は適切な位置に設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>7) <u>抜型枠の処理が適切である。</u></p> <p><input type="checkbox"/>8) 丁張りを3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意をはらっている。</p> <p><input type="checkbox"/>9) 製品にひび割れ等の損傷がない、又は損傷部を適切に補修している。</p> <p><input type="checkbox"/>10) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>11) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、単位水量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>12) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>13) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>14) その他</p> |

| | | |
|----------------------|---|--|
| <p>二次製品構造物、小型構造物</p> | <p>□1) <u>施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。</u></p> <p>□2) <u>盛土又は埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。</u></p> <p>□3) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。</p> <p>□4) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>☆ □5) <u>施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</u></p> <p>□6) <u>コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行なわれていることが確認できる。</u></p> <p>□7) 製品に有害なひび割れ等の損傷がない、又は、損傷部を適切に補修している。</p> <p>□8) JIS製品以外の製品は、外観及び品質規格証明書等の資料が整っている。</p> <p>□9) 製品のかみ合わせ、又は連結等が適切に施工されている。</p> <p>□10) 緊張及びグラウト管理が適切に実施され、記録により確認できる。</p> <p>□11) 継目部の目地モルタルが適切に施工されている。</p> <p>(削除)</p> <p>□12) その他</p> | <p>□1) <u>施工基面が平滑に仕上げられている。</u></p> <p>□2) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。</p> <p>□3) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>□4) <u>施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の高さ、締固め、養生方法等が適切に行われている。</u></p> <p>□5) 製品に有害なひび割れ等の損傷がない、又は、損傷部を適切に補修している。</p> <p>□6) JIS製品以外の製品は、外観及び品質規格証明書等の資料が整っている。</p> <p>□7) 製品のかみ合わせ、又は連結等が適切に施工されている。</p> <p>□8) 緊張及びグラウト管理が適切に実施され、記録により確認できる。</p> <p>□9) 継目部の目地モルタルが適切に施工されている。</p> <p>□10) <u>製品周辺の盛土、埋戻しの施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。</u></p> <p>□11) その他</p> |
|----------------------|---|--|